



研究用試薬

ヒストファイン

第一抗体

抗IgG4モノクローナル抗体(ヒストステイナー用)

(動物種: マウス)

包装: 60テスト (12mL)

Code: 718051

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

- 本品は、自動染色装置ヒストステイナー用の試薬 第一抗体である。
- 特異性および抗原分布: ヒト immunoglobulin G4 (IgG4)と特異的に反応する。ヒト IgG1、IgG2、IgG3 とは反応しない。IgG は免疫グロブリンのクラスの1つで、分子量は 150kDa である。ヒトの IgG には IgG1、IgG2、IgG3、IgG4 の 4 つのサブクラスが存在する。ヒト組織中の正常および腫瘍性の形質細胞の細胞質に局在する IgG4 を検出できるが、結合組織や血管内にみられる細胞外 IgG4 も同時に染色される。IgG4 関連疾患 (IgG4-related disease)では、IgG4 陽性形質細胞の多数の浸潤がみられる。既知の各臓器炎と IgG4 関連疾患(自己免疫性膵炎、硬化性胆管炎、他多数)との区別や、各腫瘍と IgG4 関連疾患(炎症性偽腫瘍)との区別に有用である。
- クローン名: HP6025
- 抗体のサブクラス: IgG1 κ
- 免疫原: ヒト IgG4
- 製法: マウス腹水より精製し得ている。

1. 内容

第一抗体・・・抗IgG4モノクローナル抗体 (動物種: マウス)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と、0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)中にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1バイアル中に12mLを含む。

2. 使用目的

組織・細胞中のIgG4の染色。

3. 切片の準備

前処理(抗原賦活化)としてヒストファイン プロテアーゼ(ヒストステイナー用)(Code:715231)で処理が必要である。

■参考: 組織の固定状況等により、処理なしで良好な染色結果が得られる場合がある。

4. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

1) 他の試薬とともに試薬ラック(ヒストステイナー用)にセットし、染色を開始する。

2) 染色終了後、すみやかに2-8°Cに保存する。

5. 染色方法の設定

1) プロテアーゼ 反応時間を5分間とする。(「3.切片の準備■参考」にて行った場合は必要ない)

2) 第一抗体 反応時間を30分間とする。

6. 貯法

2-8°C保存。

7. 使用上又は取扱上の注意

ヒト由来の検体は、取扱者に感染をひき起こす危険性がある。従って、適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

試薬バーコードラベルを使用する場合は、自動染色装置ヒストステイナーのプログラムにバーコードラベル情報を入力する必要がある。本製品が未登録の場合は、下記データを入力(漢字のみ全角、他半角入力)し、登録すること。

専用ボトルに貼付されているバーコードラベル内の情報

試薬名	抗 IgG4 ϵ /コーナル抗体
試薬略称(10 文字)	IgG4-MM
バーコード	IgG4-MM
時間(分)	30

8. 主要文献

- (1) S. Kitagawa, et al : Am J Surg Pathol. 29 : 783-791, 2005
- (2) Lyun D. Cornell., et al : Am J Surg Pathol. 31 : 1586-1597, 2007
- (3) Wah C., et al : Am J Surg Pathol. 32 : 671-681, 2008
- (4) H. Yamamoto, et al : Am J Surg Pathol. 33 : 1330-1340, 2009
- (5) Liegl B., et al : Am J Surg Pathol. 33 : 1713-1719, 2009

■ 研究用としてのみ使用すること。